

## カレンダー

(ゴチックは本号に掲載の記事)

会 期	集 会 名 ( 会 場 )	[ 掲 載 号 ]
学術集会・講習会		
2006年9月1日(金)~2007年3月31日(土)	電顕試料作製・観察実技および光顕技法講習会	[417]
11月9日(木)~2007年3月19日(月)	平成18年度統計数理研究所公開講座(東京・統計数理研究所)	[419]
21日(火)~22日(水)	第29回極域生物シンポジウム(東京・国立極地研究所)	[416]
24日(金)~25日(土)	第16回染色体コロキウム - ゲノム科学と染色体 - (千葉市・千葉大学けやき会館, 幕張OVTA)	[419]
28日(火)	第7回遺伝学談話会・21世紀COEセミナー(福岡市・九州大学)	[419]
29日(水)	(財)地球環境産業技術研究機構(RITE)プログラム研究開発・技術開発促進事業合同成果報告会(京都市・ホテルグランヴィア京都)	[419]
12月1日(金)	第43回植物化学シンポジウム「植物代謝の多様性と生態機能」(東京・東京大学薬学部総合研究棟講堂)	[418]
2日(土)	第23回資源生物科学シンポジウム「温暖化と屋上・建物緑化：その現状と展望」(倉敷市・芸文館アイシアター)	[419]
7日(木)	第31回日本比較内分泌学会シンポジウム「比較内分泌学の新世纪」(東京・早稲田大学国際会議場井深ホール)	[417]
8日(金)~9日(土)	日本動物実験代替法学会第20回大会(東京・東京大学駒場 キャンパス内)	[418]
16日(土)	第3回日本医学会公開フォーラム「医学・医療の今 - がんに挑む - 大腸がん」(東京・日本医師会館)	[418]
16日(土)	第43回好塩微生物研究会(奈良市・帝塚山大学)	[419]
16日(土)	平成18年度ビタミンの日講演会「美しく健康に生きるために～ビタミンの大切さを考えよう～」(神戸市・神戸新聞松方ホール)	[420]
23日(土)~2007年1月7日(日)	ウインター・サイエンスキャンプ	[419]
国際会議		
2006年12月1日(金)~2日(土)	第22回国際生物学賞記念シンポジウム『時間生物学』(東京・東京国際フォーラム)	[419]
2007年3月26日(月)~31日(土)	第19回国際海藻シンポジウム(The 19th International Seaweed Symposium)	[神戸市・神戸国際会議場][415]

生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合の詳細については、本ニュースの巻末をご覧ください。

生物科学ニュース編集委員会 電話 03-3814-5461 (10時半から4時まで(水曜日のみ))

FAX 03-3814-6216 E-mail bsnews@bsj.or.jp

(社)日本植物学会, (社)日本動物学会へのお問い合わせは下記のとおりをお願いします。

(社)日本植物学会 電話 03-3814-5675 (9時半から4時半まで)

FAX 03-3814-5352 E-mail bsj@bsj.or.jp

(社)日本動物学会 電話 03-3814-5461 (9時から4時まで)

FAX 03-3814-6216 E-mail zsj-society@umin.net

## 公 募

2006年11月20日(月)	第1回内藤記念フェローシップ(サバティカルリープ)(冬季)(414)
20日(月)	第6回内藤記念若手研究者海外派遣助成金(冬季)(414)
30日(木)	第9回大学婦人協会守田科学研究奨励賞(417)
30日(木)	東京大学海洋研究所平成19年度共同利用研究(419)
12月6日(水)	平成19年度京都大学霊長類研究所共同利用研究員(420)
8日(金)	第45回(平成18年度)下中科学研究助成金(416)
11日(月)	平成18年度(財)昭和聖徳記念財団学術研究助成(417)
20日(水)	ソルト・サイエンス研究財団平成19年度研究助成(419)
31日(日)	平成18年度風戸研究奨励金(研究費助成)および風戸奨励賞(417)
2007年1月15日(月)	平成19年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究, 応用研究, 環境改善計画のための助成研究(420)
2月16日(金)	第2回口リアル - ユネスコ女性科学者日本奨励賞(420)
20日(火)	第1回内藤記念フェローシップ(サバティカルリープ)(春季)(414)
20日(火)	第6回内藤記念若手研究者海外派遣助成金(冬季)(414)

## 求 人

2006年11月30日(木)	北海道大学大学院先端生命科学研究院先端生体制御科学分野助教授1名(419)
30日(木)	北里大学水産生物科学科水産増殖学講座講師1名(420)
30日(木)	北里大学水産生物科学科環境生物学講座助教授1名および講師1名(420)
12月11日(月)	京都大学霊長類研究所進化系統研究部門系統発生分野助教授1名(420)

## 学術集会

ホームページ <http://www.gak.co.jp/vitaminh/>

平成18年度ビタミンの日講演会「美しく健康に生きるために～ビタミンの大切さを考えよう～」が、12月16日(土)(午後1時～4時30分)に、神戸新聞松方ホール(神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル4F)で開かれます。内容は次のとおりです。

講演1) 高齢者のQOLとビタミン(京都女子大・田中 清), 講演2) 高齢者の栄養管理とビタミン(徳島大・武田英二), 講演3) 腎臓病とビタミン(大阪市立大院医・西澤良記)

参加費は無料です。参加の詳細は下記に問い合わせてください。

【問合先】658-8558 神戸市東灘区本山北町4-19-1  
TEL 078-441-7564 FAX 078-441-7565 E-mail t-okano@kobepharma-u.ac.jp

【連絡先】606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9 京大会館2階「ビタミンの日」委員会事務局 TEL & FAX 075-751-5657 E-mail vitaminh@joy.ocn.ne.jp ホ

## 公 募

平成19年度京都大学霊長類研究所共同利用研究員が募集されています。

霊長類に関する共同利用研究員を以下の3区分で募集します。

(A) 計画研究: 所内の教員を推進者とする課題について、所外の研究者との緊密な連絡のもとに進められる共同研究。

課題についてはHP (<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>) をご覧ください。

(B) 自由研究: 霊長類研究の総合的発展を目指し、応募者の自由な発意に基づき行われる共同研究。

(C) 施設利用: 当研究所の研究設備および資・試料を利用できます。提供できる資・試料は次のとおりです。体液、臓器、筋肉、毛皮、歯牙、骨格、排泄物、その他(生体利用・行動観察含む)

計画研究，自由研究では共同研究に必要な研究費等を申請することができます。

申請資格は，平成19年4月1日時点において，大学・研究機関の研究者および大学院生またはこれらに相当する方（見込みを含む）です。研究期間は，平成19年4月1日～平成20年3月31日です。申請締切は，平成18年12月6日（水）必着のことです。詳細は霊長類研究所ホームページ（<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>）をご覧ください。申請用紙も同ホームページよりダウンロードしてお使い下さい。

〔申請先〕 京都大学霊長類研究所 研究助成掛  
〔問合せ先〕 484-8506 愛知県犬山市官林41-2 TEL 0568-63-0513 FAX 0568-63-0085 E-mail kenkyu\_josei@pri.kyoto-u.ac.jp

平成19年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究，応用研究，環境改善計画のための助成研究が公募されています。

研究対象テーマは，1）産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究，2）排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究，3）多摩川およびその流域における水の利用に関する調査，試験研究，4）多摩川をめぐる自然環境の保全，回復に関する調査，試験研究，です。公募締切は平成19年1月15日（月）です。詳細は下記へ問い合わせ下さい。

〔問合せ先〕 150-0002 東京都渋谷区渋谷1-16-14（渋谷地下鉄ビル内）事務局（財）とうきゅう環境浄化財団  
TEL 03-3400-9142 FAX 03-3400-9141 ホームページ  
<http://home.q07.itscom.net/tokyuen>

第2回ロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞が公募されています。

ロレアルグループが主催し，ユネスコ日本国内委員会が後援している事業で，国際賞と別に，日本国内で奨励賞が授与されています。生命科学，物質科学の両分野から2名ずつ，受賞者に奨学金100万円が贈呈されます。受付期間は2006年11月1日（水）～2007年2月16日（金）です。必要応募書類は日本ロレアルホームページ（<http://www.nihon-loreal.co.jp>）からダウンロードしてください。

〔応募書類送付先〕 163-1071 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー 日本ロレアル株式会社コーポレー

ト・コミュニケーション本部内「ロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞」事務局  
〔問合せ先〕 E-mail [fwis-japanfellowships@jp.loreal.com](mailto:fwis-japanfellowships@jp.loreal.com)

## 求 人

北里大学水産生物科学科水産増殖学講座で講師1名が公募されています。

分野は，水産増殖学で水生動物の増殖生理学を専門とされる方を望みます。応募の条件は，博士の学位を有しており，40歳ぐらいまでの方を望みます。

水産増殖学講座の担当科目は，分子生物学，海洋分子生物学，海洋生物学，水産増殖学，水産動物発生学，種苗生産学，漁業学，生理学，生物統計学，魚類生理学，水産遺伝育種学，動物解剖学，水族病理学，水産薬理学，微生物生化学，専門英語，生物学実験，化学実験，水産生物学実験，水産化学実験，卒業論文指導等です。このほかに，大学院の演習・実験科目および博士前期課程における研究指導を担当して頂きます。就任予定日は，平成19年4月1日付（あるいは採用決定次第できるだけ早い時期）です。

提出書類は，1）履歴書（写真貼付），2）研究業績目録（原著，総論，著書，その他，学会発表等に分けて年号の新しい順に記載したもの），3）主要学術論文5編の別刷りまたはそのコピー1部，4）教育に関する抱負（教育歴等を含む，A4の様式で2,000字程度），5）本人について意見を求めうる方2名の氏名・連絡先です。提出書類により選考し，必要に応じて面接をさせて頂くことがあります（旅費は自己負担）。提出期限は，平成18年11月30日（木）必着です。

〔応募書類送付先〕 022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字烏頭160-4 北里大学水産学部事務長宛  
〔問合せ先〕 北里大学水産学部 水産増殖学講座主任・教授 渡邊 翼 TEL 0192-44-1906 FAX 0192-44-2125  
E-mail [watanabe@kitasato-u.ac.jp](mailto:watanabe@kitasato-u.ac.jp) ホームページ  
<http://www.kitasato-u.ac.jp/fish/fisheries.html>

北里大学水産生物科学科環境生物学講座で，助教授1名および講師1名が公募されています。

専門分野は，環境生物学の分野（2名）で，生物海洋学，微細藻類学を専門とされる方を望みます。

応募条件は，博士の学位を有しており，40歳ぐらいまでの方を望みます。

環境生物学講座の担当科目は、水産海洋学、魚類分類学、水圏生態学、資源解析学、海洋基礎生産学、水産無脊椎動物学、水産植物学、環境科学、微生物学、代謝生化学、水産微生物学、海洋微生物生態学、専門英語、生物学実験、化学実験、水産生物学実験、水産化学実験、博物館実習、卒業論文指導等です。このほかに、大学院の演習・実験科目および博士前期課程における研究指導を担当して頂きます。就任予定日は、平成19年4月1日付（あるいは採用決定後できるだけ早い時期）です。

提出書類は、1) 履歴書（写真貼付）、2) 研究業績目録（原著、総論、著書、その他、学会発表等に分けて年号の新しい順に記載したもの）、3) 主要学術論文5編の別刷りまたはそのコピー1部、4) 教育研究に関する抱負（教育歴等を含む、A4の様式で2,000字程度）、5) 本人について意見を求めうる方2名の氏名・連絡先です。提出書類により選考し、必要に応じて面接をさせて頂くことがあります（旅費は自己負担）。提出期限は、平成18年11月30日（木）必着です。

〔応募書類送付先〕 022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字烏頭160-4 北里大学水産学部事務長宛

〔問合先〕 北里大学水産学部 環境生物学講座主任・教授 加戸隆介 TEL 0192-44-1914 FAX 0192-44-2125 E-mail rukado@kitasato-u.ac.jp ホームページ <http://www.kitasato-u.ac.jp/fish/fisheries.html>

京都大学霊長類研究所進化系統研究部門系統発生分野で助教授1名が公募されています。

系統発生分野は、古生物学・形態学・動物地理学などの研究手法を用いて、霊長類の系統進化に関する研究を行っています。霊長類をあつかった研究経験は必ずしも問いませんが、霊長類の系統進化の研究をインテンシブに推進し、広い視野に立って後進の指導・教育、研究所の運営に寄与される方を望みます。

本研究所は進化系統研究部門（形態進化、集団遺伝、系統発生分野）、社会生態研究部門（生態機構、社会構造分野）、行動神経研究部門（思考言語、認知学習、行動発現分野）、分子生理研究部門（器官調節、遺伝子情報分野）の4部門（10分野）、二ホンザル野外観察施設、人類進化モデル研究センターの2附属施設、プロジェクト形式で推進されている流動部門多様性保全研究分野、および寄附研究部門「比較認知発達（ベネッセコーポレーション）研究部門」で構成されている全国共同利用研

究所です。霊長類研究所についてのその他の情報は研究所のホームページ（<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp>）でも見ることができます。採用予定は2007（平成19）年4月頃です。

応募に必要な書類（各2部、コピーでも可）は、1) 履歴書、2) 特記すべき学会活動歴、外部資金（科研費等）の受領歴、3) 研究論文の目録と別刷、4) 研究論文以外の印刷公表物の目録と別刷、5) これまでに行ってきた研究内容の要旨（3,000字程度）、6) 本研究所に採用された場合に行おうとする研究の主題とその目的・方法などの要旨（3,000字程度）です。応募の締切は2006（平成18）年12月11日（月）必着）です。なお、封筒に「系統発生分野助教人事」と朱書してください。

選考は、本研究所教員の中から選出された人事委員会の審議を経たうえで、全教員により構成される協議委員会で行われます。なお、選考に関する審議内容は公表致しません。選考結果は、当該個人に関する結果だけを応募者にお知らせいたします。

なお学校教育法の改正により、2007年4月1日から職階制度が変更され助教は准教授という名称に変更されることになっています。

〔応募書類送付先〕 484-8506 愛知県犬山市官林41-2 京都大学霊長類研究所長 松沢哲郎

〔問合先〕 本研究所内 高井正成（[takai@pri.kyoto-u.ac.jp](mailto:takai@pri.kyoto-u.ac.jp)） TEL 0568-63-0533 FAX 0568-63-0536

## 書 評

人体 失敗の進化史 遠藤秀紀著、光文社新書、2006年、251頁、740円（本体価格）

本書では、まず進化が如何に有限なものであるかという現実が提示される。哺乳類は大きさも形も様々であるが、自然選択によって自由に進化できる変身能力は持っていない。この理の上で著者は比較形態学的視点と方法論を本書の前半部で明快に解説する。脊椎動物の進化では、はじめに決定された材料が存在し、これ以外のものを唐突に調達することは不可能である。これをどのように加工して形を変えるのか？ 或は退化させるのか？ というやり方でしか進化的変化は成立しないのだということを読者は自然に納得できてしまう。本書の後半では、既存の材料を変更させ続けた進化の結果ヒトが獲得できたもの（大きな脳、直立二足歩行等々）とは何かについて議論がなされる。本書のタイトルは「人体・失敗の進

化史」というやや自虐的響きを持っているが、本書を通して強く伝わってくる著者の提言は「欠点を全てなくす事象の変化はあり得ない」ということだと感じられた。どんなに構造を変えても必ずどこかに欠点は存在する。完全な事象は存在しないという誰もが意識のどこかで承知している事実を本書の最後で再認識することとなる。数十億年にわたる進化的産物の本質に多くの欠点が見られるという事実を知って悲観的に考える必要はない。むしろ著者の伝えたいことは逆なのだとは私は考える。「数十億年の進化史でこれだけ欠点があるのだから、読者の皆さんが短所だらけでも当たり前で、人生もっと楽観的に考えて然るべし。」といった所であろうか。ぜひ御一読をお勧めしたい。

(帯広畜産大学野生動物管理学研究室 押田龍夫)

新編 精子学 毛利秀雄, 星 元紀監修, 森沢正昭, 星和彦, 岡部 勝編, 東京大学出版会, 2006年, 512頁, 18,000円(本体価格)

全24章からなる本書は、精子の基礎研究のみならず、応用研究にも多くのページが割かれている。章末の多くには、その分野での注目すべき研究や関連するユニークな研究が、数ページの「トピック」として紹介されており、本書では、受精を含めておよそ精子研究のあらゆる局面が網羅されていると言っても過言ではあるまい。2005年の論文も引用されているように記述内容は新しく、引用文献も大変充実しており、日本語の専門書としては良い意味で異色であろう。日本における精子研究のレベルの高さを物語っているとも言える。この高い網羅性ゆえに、本書全体を精読することはとても評者の力の及ばぬところであり、評者にも理解可能な幾つかの章を中心とした書評とならざるを得なかったことをお許し頂きたい。

広く生物一般に認められる受精は、古くから重要な研究テーマであるが、現在の発生生物学では、形態形成に関する研究の方が遙かに主流である。高度に特殊化した細胞である配偶子が相互作用する受精は、発生生物学の中ではむしろ特殊な分野とみなされる傾向にすらある。それにも拘わらず、受精における情報伝達系の解析が進行している。例えば、受精直後の卵内カルシウムイオン濃度の上昇により、表層粒の開口分泌が誘起されるが、本書では、神経終末におけるシナプス小胞の放出などの一般的な開口分泌と共通する情報伝達機構が、具体的且つ詳細に記載されている。このことは、受精の研究が、

種々の生物固有の受精を記述する学問から、受精に内在する共通の情報伝達機構の解明へ、更には受精以外の生物現象における情報伝達機構との共通性という細胞生物学的観点での議論が可能な分野へと、着実に脱皮しつつあることを意味する。

本書はページ数も多く、高価であり、すべての生物学者に推奨することは適当ではないが、書店や図書館などで手に取る機会があれば、是非その一部にでも目を通されることをお勧めしたい。アグレッシブに進行する精子研究の息吹が伝わってくるであろう。

(都臨床研 久保英夫)

### 寄贈図書の本書評希望者募集

生物科学ニュース編集委員会では、本委員会に寄贈されました下記の本の本書評希望者を募集いたします。謝礼と致しまして書評した本を差し上げます。希望者は編集委員会まで葉書、FAX または E メールでご連絡ください。書評をお願いする場合は本と執筆要領をお送りいたします。但し希望者多数の場合、どなたをお願いするかは編集委員会に一任願います。尚、出版社より編集委員会に書評依頼のあった単行本以外の書評、および書評の投稿は受け付けておりませんのでご了承ください。お書きいただいた書評は、生物科学ニュースのみならず、日本動物学会および日本植物学会のホームページにも掲載される場合があります。この点を、あらかじめご了承ください。

生態系へのまなざし 鷲谷いづみ, 武内和彦, 西田睦著 312頁 2005年 東京大学出版会 2,800円(本体価格, 以下同)/ 植物改良への挑戦 - メンデルの法則から遺伝子組換えまで - 鶴飼保雄著 348頁 2005年 培風館 2,500円/ 民族昆虫学 昆虫食の自然誌 野中健一著 202頁 2005年 東京大学出版会 4,200円/ マネジメントの生態学 - 生態文化・環境力回復・環境経営・資源循環 - 鈴木邦雄著 304頁 2006年 共立出版 3,300円/ ホルモンの人間科学 山内兄人著 250頁 2006年 コロナ社 2,700円/ 共生という生き方 微生物がもたらす進化の潮流 トム・ウェイクフォード著 遠藤圭子訳 193頁 2006年 シュプリンガー・フェアラーク東京 1,900円/ 再生医療の基礎シリーズ - 生医学と工学の接点 - (1) 再生医療のための発生生物学 浅島 誠編著 259頁 2006年 コロナ社 4,300円/ 地球環境と生態系 - 陸域生態系の科学 - 武田博清, 占部

城太郎編集 282頁 2006年 共立出版 4,000円/新・生命科学ライブラリ B5 細胞の形とうごき 細胞の運動と制御 大日方昂著 206頁 2006年 サイエンス社 2,200円/よみがえる恐竜・古生物 ティム・ヘインズ, ポール・チェンバース著 椿 正晴訳 群馬県立自然史博物館監修 215頁 2006年 ソフトバンククリエイティブ 2,800円/蘇るコウノトリ - 野生復帰から地域再生へ - 菊地直樹著 263頁 2006年 東京大学出版会 2,800円/植物ホルモンの分子細胞生物学 - 成長・分化・環境応答の制御機構 - 小柴共一, 神谷勇治, 勝見允行編 286頁 2006年 講談社サイエンティフィック 4,200円/遺体科学の挑戦 遠藤秀紀著 209頁 2006年 東京大学出版会 2,900円/サナギから蛾へ - カイコの脳ホルモンを究める - 石崎宏矩著 242頁 2006年 名古屋大学出版会 3,200円/環境生物科学 - 人の生活を中心とした - (改訂版) 松原 聡著 236頁 2006年 裳華房 2,600円/動物学名の仕組み - 国際動物命名規約第4版の読み方 - 大久保憲秀著 301頁 2006年 伊藤印刷出版部 2,858円/岩波科学ライブラリー122 クマムシ?! - 小さな怪物 - 鈴木 忠著 116頁 2006年 岩波書店 1,300円/バイオディバーシティ・シリーズ7 脊椎動物の多様性と系統 岩槻邦男, 馬渡峻輔監修 松井正文編集 403頁 2006年 裳華房 5,500円/生命のエンジン - 美しき生命と機械エンジン 駆動力の源泉は何か - 内藤 健著 248頁 2006年 シュプリンガー・ジャパン 3,000円/ヒグマ学入門 - 自然史・文化・現代社会 天野哲也, 増田隆一・間野勉編著 273頁 2006年 北海道大学出版会 2,800円/変わる植物学 広がる植物学 - モデル植物の誕生 - 塚谷裕一著 227頁 2006年 東京大学出版会 2,400円/生命科学史 遠山 益著 217頁 2006年 裳華房 2,200円  
 [連絡先] 113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル 生物科学ニュース編集委員会 FAX 03-3814-6216 E-mail mkato@cc.ocha.ac.jp または kubo@rinshoken.or.jp

==== 生物科学ニュー - ス書評用図書 ====

生物科学ニュー - ス編集委員会宛に以下の本が寄贈されました。(2006年5月 - 10月分)

再生医療の基礎シリーズ - 生医学と工学の接点 - (1) 再生医療のための発生生物学 浅島 誠編著 259

頁 2006年 コロナ社 4,300円(本体価格, 以下同)/地球環境と生態系 - 陸域生態系の科学 - 武田博清, 占部城太郎編集 282頁 2006年 共立出版 4,000円/DNAとタンパク質 石井信一著 188頁 2006年 裳華房 2,200円/人体 失敗の進化史 遠藤秀紀著 251頁 2006年 光文社 740円/シカの生態誌 高槻成紀著 480頁 2006年 東京大学出版会 7,800円/カラー版食虫植物図鑑 近藤勝彦, 近藤誠宏著 248頁 2006年 家の光協会 2,600円/細胞の中の水 パスカール・マントレ著 辻 繁, 中西節子, 落合正宏, 大岡忠一訳 312頁 2006年 東京大学出版会 5,200円/新・生命科学ライブラリ B5 細胞の形とうごき 細胞の運動と制御 大日方昂著 206頁 2006年 サイエンス社 2,200円/植物と環境ストレス 伊豆田猛編著 220頁 2006年 コロナ社 3,200円/よみがえる恐竜・古生物 ティム・ヘインズ, ポール・チェンバース著 椿 正晴訳 群馬県立自然史博物館監修 215頁 2006年 ソフトバンククリエイティブ 2,800円/新編 精子学 毛利秀雄, 星 元紀監修 森沢正昭, 星 和彦, 岡部 勝編 490頁 2006年 東京大学出版会 18,000円/微生物の世界 日本菌学会, 日本藻類学会, 日本放線菌学会, 日本微生物資源学会, 日本微生物生態学会, 製品評価技術基盤機構監修 宮道慎二, 奥田 徹, 井上 勲, 後藤俊幸ほか編集 213頁 2006年 筑波出版会 12,000円/蘇るコウノトリ - 野生復帰から地域再生へ - 菊地直樹著 263頁 2006年 東京大学出版会 2,800円/昆虫 - 驚異の微小脳 水波 誠著 291頁 2006年 中央公論新社 840円/植物ホルモンの分子細胞生物学 - 成長・分化・環境応答の制御機構 - 小柴共一, 神谷勇治, 勝見允行編 286頁 2006年 講談社サイエンティフィック 4,200円/遺体科学の挑戦 遠藤秀紀著 209頁 2006年 東京大学出版会 2,900円/サナギから蛾へ - カイコの脳ホルモンを究める - 石崎宏矩著 242頁 2006年 名古屋大学出版会 3,200円/環境生物科学 - 人の生活を中心とした - (改訂版) 松原 聡著 236頁 2006年 裳華房 2,600円/動物学名の仕組み - 国際動物命名規約第4版の読み方 - 大久保憲秀著 301頁 2006年 伊藤印刷出版部 2,858円/岩波科学ライブラリー122 クマムシ?! - 小さな怪物 - 鈴木 忠著 116頁 2006年 岩波書店 1,300円/バイオディバーシティ・シリーズ7 脊椎動物の多様性と系統 岩槻邦男, 馬渡峻輔監修 松井正文編集 403頁 2006年 裳華房 5,500円/生命のエンジン - 美しき生命と機械エンジン

駆動力の源泉は何か - 内藤 健著 248頁 2006年  
シュプリンガー・ジャパン 3,000円 / ヒゲマ学入門 -  
自然史・文化・現代社会 天野哲也, 増田隆一・間野  
勉編著 273頁 2006年 北海道大学出版会 2,800円 /  
変わる植物学 広がる植物学 - モデル植物の誕生 - 塚

谷裕一著 227頁 2006年 東京大学出版会 2,400円 /  
生命科学史 遠山 益著 217頁 2006年 裳華房  
2,200円

生物科学ニュース編集委員会